



APEC貿易担当大臣（MRT）会合議長への書簡

2010年5月21日

APEC貿易担当大臣会合議長

日本国外務大臣

岡田 克也 閣下

APEC貿易担当大臣会合議長

日本国経済産業大臣

直嶋 正行 閣下

両大臣閣下、

APECビジネス諮問委員会（ABAC）を代表し、私たちの2010年作業計画の取り組みの中間報告書を貿易担当大臣に提出させていただきます。

前回の私たちと貿易担当大臣との会合以来、世界経済は期待を上回る速度で回復してきました。しかしながら、長引く不確実な状況や重大なリスクが、安定的・持続的な成長を達成する上での課題となっています。欧州で今起こっている危機が長引き、APEC地域に拡大してしまうような事態にならないよう、各国・地域は、迅速で整合性のとれた行動がとれるようにしておくべきです。また、国・地域は、保護主義への対抗と、WTOドーハ開発アジェンダの早期妥結という現在のコミットを堅持しなければなりません。

このような背景下、ABACは「持続可能な成長を全ての人々のために」を2010年のテーマとして採択し、持続的経済回復と地域の新たな成長に資する提言の策定をめざしました。これらの提言は3つの主要なテーマ、すなわち、バランスのとれた成長を目指した経済構造の高度化、地域経済統合の推進、環境調和型の経済成長の促進、に焦点を当てています。包括性を高めるために、中小・零細企業の発展に重点を置きます。ABACはAPEC貿易担当大臣に対し、次の2つの事項に焦点を当てるよう要請します。

ABACの2010年の取り組み事項の主要な要素として、ビジネスの観点からのボゴール目標の達成状況の評価というものがあります。ABACによるレビュー（付属文書1をご参照ください）では、多くの参加国・地域で1994年以来かなりの程度市場開放が進んだ事を明示しています。先進国・地域はより自由で開かれた状態に向けて重要な進捗を見せ、この傾向は途上国・地域でも明らかに見て取れます。2020年までにAPECの全ての国・地域において自由で開かれた貿易と投資を実現するという目標に至るには、さらになされるべきことがあります。今回のレビューの結果に基づいて、ABACは、経済統合を目指す新しいビジョンは、物の貿易、サービス、投資、アイデア、そして人の移動といったことをも網羅するものであるべきだと提言します。これらの推進に向けた努力は、各国・地域の更なる地域経済統合に向けた進捗を毎年モニターする一揃いの指標を策定することで強化できると考えます。我々は、大臣閣下がAPEC事務局にこうした指標を考案し公表するよう指示することに同意されるよう提案いたします。

ABACの、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP:Free Trade Area of the Asia Pacific）が、APECにおける更なる経済・市場統合を達成するのに最も実効性のあるコンセプトであるとの信念にはいささかの变化もありません。その構想の通り、FTAAPは市場アクセスを超え、新世代のアプローチで、物やサービスの移動の円滑化、規制改革、基準調和、地域における人材需給の調和など、市場統合の課題に取り組むものであります。ビジネス界による活発な参加が可能となるよう、ABACは、昨年の中脳への提言に引き続き、FTAAPに向けたより詳細な取り決めや手順の設定を大臣に求めています。

グローバルなビジネス環境は非常に広範なものであることから、究極の目的であるAPEC地域における自由で開かれた貿易と投資の達成に関連する他の多くの問題について評価することが必要です。このことはABACの2010年の取り組み事項に反映されており、これらの問題についての提言と最新情報を付属文書2として添付しております。

我々は札幌における6月初旬の皆様の会合に参加し、これらの提言について詳細に議論することに期待しております。

敬具

2010年ABAC議長
相原元八郎